

受験番号	国際教育サブプログラム
------	-------------

令和4年度
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
国際教育サブプログラム入学試験問題（10月実施）

専門科目

(11:30～12:30)

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置きなさい。合図の後にも筆記用具を持っている場合には不正行為とみなします。
3. 専門科目の問題用紙は1枚です。
4. 答案用紙は1枚です。選択した問題の番号を答案用紙の最初に明記して解答しなさい。
5. 日本語または英語で解答すること。

【 令和4年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
国際教育サブプログラム入学試験問題 】

受験番号

専門科目

1枚のうち 1枚目

以下の2つの問いのうち、1つを選択して解答しなさい。解答の際には、選択した問題番号（①か②のいずれか）を解答欄の冒頭（1行目）に明記しなさい。

①中央教育審議会は、2021（令和3）年1月26日に『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」を取りまとめ、公表した。この答申の副題が示すように、現在、日本では「個別最適な学び」と「協働的な学び」の双方の実現が目指されている。

今日、日本の学校教育に求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」はそれぞれどのような学びであるのか、なぜ両者の一体的な充実が重要なのかについて、今日の日本の学校教育が直面する課題を踏まえながら論じなさい。

②ユネスコの2021年2月19日付の報告“Fostering multilingualism for inclusion in education and society”によると、世界の人口の約40%の人々は第一言語（もっとも話しやすい・理解しやすい言語）で教育にアクセスできていない。さらに、インターネットで使える言語は現在世界で使われている言語（約7,000言語）の2%に過ぎない。

このような状況におかれている言語的少数者の子どもたちがオンライン（遠隔）教育を受ける際に直面する教育課題について述べなさい。